

kanagawa ARTS PRESS

神奈川芸術プレス Vol.140

2|3
2018



CREATOR'S VOICE 159
幸田浩子

神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2018 出張公演「魔笛」

撮影:末武和人

劇団四季ミュージカル「ノートルダムの鐘」この春KAATで開幕!!
国際舞台芸術ミーティング(TPAM) in 横浜 2018
魅力的な住宅地、新たな観光地——横須賀・谷戸地域

隔月刊:奇数月15日発行

パミーナは、舞台のなかで成長していける素敵な役です。
作品への愛情がこんなに隅々までゆき渡った「魔笛」に参加でき、本当に幸せです。

神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ 2018 モーツァルト作曲「魔笛」

神奈川県民ホール出張公演

幸田浩子 ソプラノ



2018年3月、神奈川県民ホール出張公演として宮本亜門演出のモーツァルトのオペラ「魔笛」が横須賀と相模原で上演されます。

パミーナ役の幸田浩子さんは、世界の檜舞台で活躍し「聴くものの心を融かす」と評されるソプラノ。取材当日、優雅な水色のワンピースで颯爽と現れた幸田さんは、王女パミーナにふさわしい美しさとおやかさを兼ね備えた素敵な女性でした。

——小さい頃から音楽が身近だったそうですね。

母が小学校の音楽の先生で、父は大学時代にグリーククラブで、姉は3歳からヴァイオリンを習っていたので、物心ついた時には音楽に囲まれていました！ 小さいお子さんはみんなそうかもしれませんが、子どもの頃、その日にあった出来事を歌にして歌っていたそうです。わたしにとって歌うことはとても自然なことで、そのまま現在に至っている感じです。（笑）

——音楽を学ばれ、東京藝術大学卒業後

はイタリアに留学されました。

私は大阪出身なんですけど、大阪とイタリアは似ていると聞かされてきて、子どもの頃からいつか自分はイタリアに住むのだろうと思っていました。大学2年生の時に初めて訪れたイタリアの地ミラノにはその後、東京藝大の休みごとにレッスンに通っていました。文化庁で奨学金をいただけることになり、留学先をボローニャにしました。食べ物美味しいことはもちろん、ローマやヴェネツィアなど主要な都市へのアクセスが良く、国際空港から街も近いので、各地にレッスンやコンクール、オーディションなどに飛び回ることもできました。

——オペラ誕生の地、イタリアで得たものはとても多かったでしょうね。

街では友人同士が抱き合ったり、教会でマリア様の前で涙を流しながらお祈りをしていたり、オペラの舞台のような光景が繰り広げられていて……ああ、舞台は日常の延長なんだなと身に染みて感じることができました。おかげで何か特別

幸田 浩子 Hiroko Kouda

東京藝術大学首席卒業。同大学院、文化庁オペラ研修所を経て渡欧。数々の国際コンクールに上位入賞後、欧州の名門歌劇場へ次々とデビュー。ローマ歌劇場、ベッリーニ大劇場、シュトゥットガルト州立劇場等で主要な役を演じ、2000年ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約。国内では全国各地でのリサイタルに加え、テレビ、ラジオでレギュラーを務めるなど幅広く活躍中。17年11月《優歌〜そばにいるうた、よりそうた》をリリース。二期会会員。





なことを演じるのではなく舞台の上で生きていけばいいんだ、と思えるようになりました。

—— 名門ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約することになったオーディションは「魔笛」だったとか。

ウィーンのエージェントから、フォルクスオーパーが「魔笛」の夜の女王役を探しているからオーディションを受けに来ないかと連絡があり、ボローニャから10時間以上電車に乗って向かいました。そして、オーディション後、「魔笛」の公演だけではなく、専属になりませんか、とおファーをいただき、ウィーンに移り住むことになりました。

新国立劇場に初出演したのも、劇場の開場した1997/98シーズンの「魔笛」で、その時は童子役で出演させていただきました。私にとってモーツァルトが、そして「魔笛」というオペラがあることで新しい扉が開かれてきたと思っています。

みんなが楽しめるオペラ「魔笛」

—— 「魔笛」はヨーロッパで上演回数が一番多いオペラですね。

どこを切り取っても名曲ばかりのオペラです。アンサンブルも美しいですし。

オペラがお好きな方はもちろん、オーケストラが好きな人も、またドイツ語のセリフが入って物語を運んでいくスタイルなので、お芝居好きな人もみんなが楽しめますよね。

—— オペラの冒頭、登場した直後に王子タミーノは大蛇との戦いで気絶してしましますが、王女パミーナもまた登場して間もなく気絶し、そこからお話が展開します。

パミーナは、自分を誘拐した高僧ザラストロに仕えるモノスタトスにながられて気絶するのですよね。ヨーロッパでは、気絶は死の一つの象徴といわれていて、そこから目覚めて、また一歩成長するということなのです。

パミーナはつねに自身で道を切り開いていこうとする人です。誘拐されたら自力で脱出を試みたり、母である夜の女王からの指示に盲従するのではなく、自分の意思で新しい世界に進んでいこうとします。そうした強さとともに、女性らしい、愛する人がいるゆえのもろさも持っていて、愛するタミーノが愛してくれるのなら自分は何とでも強くなれる、愛されることと愛することで強くなっていくのです。舞台のなかで成長していける素敵な役です。

神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ 2018

モーツァルト作曲「魔笛」

2018年3月11日(日) 14:00 よこすか芸術劇場

3月18日(日) 14:00 相模女子大学グリーンホール (大ホール)

演出: 宮本亜門 指揮: 川瀬賢太郎

出演: 大塚博章(ザラストロ) 安田麻佑子(夜の女王)

鈴木 准(タミーノ) 幸田浩子(パミーナ)

萩原 潤(パバゲーノ) 九嶋香奈枝(パバゲーナ)

高橋 淳(モノスタス) 他

二期会合唱団(合唱) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

全席指定 S 10000円(Sペア19000円) A 8000円 B 5000円 C 3000円 学生(24歳以下・枚数限定) 2000円

特設サイト www.kanagawa-kenminhall.com/mateki2018/

www.artspress.jp

WEB
+a!このマークの記事
にはWEB版だけの
+αコンテンツも!WEB
+a!

作品への愛がこもった宮本亜門演出

——宮本亜門演出の「魔笛」は2013年にオーストリア・リンツ州立劇場で上演され、日本では15年に東京二期会が上演して話題となりました。幸田さんはこの二期会公演からパミーナ役で出演されていますね。

オペラへの愛情、作品への愛情が隅々まで行き渡っている亜門さんの「魔笛」に参加させていただいて本当に幸せです。

亜門さんの演出は、現代のどこにでもあるような家庭のお父さんとお母さん、おじいちゃんともたち3人という設定でオペラが始まります。童子は物語の要素所でタミーノとパミーナを導き、助けるのですが、子どもたちが懸命にお父さんとお母さんを守り、励まし、助けているようになんとも健気です。

家族ってなんだろう、愛するってなんだろう、自分らしく生きていくのに、大切なものはなんだろう、とお客さまと舞台上が一体となって、旅することのできる作品だと思っています。

この舞台は、超最先端の技術と、現代社会と、そして普遍的なモーツァルトの本質とがリンクし合っているバランスが素晴らしいんです。どの国の、どの世代

の方々にも楽しんでいただけたと思います。できることなら、モーツァルトにも観て欲しいくらいです! 話すときがないのですが、個人的には、弁者(高僧)の登場のシーンは今までこんな観たことがない……と惹きつけられましたし、パバゲーノとパバゲーナのデュエットのチャミングさに涙が出てきます。

「魔笛」はいろんな読み替えもできる懐の深い豊かな作品で、それこそモーツァルトは天才だと思うところです。私はずっと話していられるくらいモーツァルトが好きなのですが、それはモーツァルトの音楽がシンプルで、それがゆえの透明な光と官能美をも感じさせてくれるからです。人生のすべてがそこに表れているような気がします。

神奈川県民ホールの出張公演

——2018年3月は県民ホールが改修中のため、よこすか芸術劇場と相模大野の相模女子大学グリーンホールが会場になります。

よこすか芸術劇場は留学する前からよく出演させていただいた、ヨーロッパの劇場のように優雅で、私の大好きな劇場です。

相模女子大学グリーンホールは駅から

も近くて、皆さまにとって身近なホールだと思えますが、ホールに入ったら亜門さんの「魔笛」ワールドに引き込まれること、請け合いです。

——最後に「魔笛」公演に向けてメッセージをお願いします。

オペラは敷居が高いと思われる方にはぜひこの「魔笛」から。また、オペラ通の方にも、ぜひこの「魔笛」を、観ていただきたいです。大人も子どもも楽しめる素敵な作品です。皆さまぜひ一緒に「魔笛」空間を旅しませんか。

my hall myself

私にとつての神奈川県民ホール

県民ホールの一番の思い出は、県民ホールの最初の思い出でもあるのですが、学生時代にイタリア・オペラの来日公演チケットをがんばって予約して、友人たちと観に行ったことです。東京の会場よりチケットが少し安くて、学生でもブラシド・ドミンゴの「道化師」など大歌手が出演するグラランドオペラに行くことができたのです。大切な私のオペラ体験のうちの一つです。

取材・文: 川西真理 撮影: 末武和人



神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ 2018 モーツァルト作曲「魔笛」

神奈川県民ホール出張公演

オペラからレクチャーまで、モーツァルトの「魔笛」をまるかじり!!

3月末まで改修工事により休館中の神奈川県民ホールは、この2〜3月に県内を巡回し出張公演を開催します。これまで横浜では少し遠いと感じられていた方には、近くの街でオペラを楽しんでいただくチャンスです。取り上げる演目は、子どもから大人まで世界中の人々を魅了し続けるモーツァルトの「魔笛」。オペラ公演だけでなく、ハイライトコンサート、レクチャーコンサートなど多彩な企画で、その魅力をまるごと味わっていただけます。

モーツァルト最後のオペラ「魔笛」は、ドイツ語のセリフが入った歌劇（ジングシュピール）で、1791年のウィーン初演以来、世界中の劇場で上演され続けている傑作です。その人気の最大の理由は、親しみやすくも奥が深いモーツァルトの音楽。つい口ずさみたくなるパパゲーノの「私は鳥刺し」、美しさにあふれたタミーノの「なんと美しい絵姿」、超絶技巧で圧倒する夜の女王の「復讐の炎は地獄のように我が心に燃え」など名アリアが目白押し。さらにユーモラスな五重唱「フム、フム、フム」、パパゲーノとパパゲーナが幸せいっぱい歌う「パパパの二重唱」など、個性豊かな重唱曲も次から次

へと登場します。また物語は、大蛇が出てきたり、火や水の試練があったり、途中で善と悪が入れ替わったりと、息つく間もなく場面が変化します。

2013年オーストリア・リンツ州立劇場のシーズンオープニングを飾り、大喝采を浴びた宮本亜門演出の「魔笛」は、プロジェクション・マッピングの技術を取り入れ、スピード感あふれる冒険ファンタジーを実現。「舞台のセットが本物なのか、3Dによる映像なのか、その境界線がわからなくなるほど驚かされる箇所がいくつもある」とオーストリアの新聞で絶賛されました。そして出演するのは、日本を代表する実力派の歌手陣。素晴らしい歌唱とともに、最新の映像技術と一体になった見事な演技を披露してくれるはず。ぜひ劇場に足を運んで、オペラ「魔笛」をご堪能ください。

オペラに興味はあるけれど長時間の鑑賞はちょっと心配……という方には、「魔笛」の名曲アリアを集めた「1時間で楽しめる『魔笛』ハイライト」をどうぞ。ドイツの歌劇場で経験を積んだ太田麻衣子の演出、わかりやすい字幕解説付きで、どなたでも楽しめる内容です。今回は県西地域にも出張しますので、お気軽にお出掛けください。

神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ 2018

モーツァルト作曲「魔笛」

2018年3月11日(日) 14:00 よこすか芸術劇場

3月18日(日) 14:00 相模女子大学グリーンホール(大ホール)

演出:宮本亜門 指揮:川瀬賢太郎

出演:大塚博章(ザラストロ) 安田祐子(夜の女王)

鈴木 准(タミーノ) 幸田浩子(パミーナ)

萩原 潤(パペーゲン) 九嶋香奈枝(パペーナ)

高橋 淳(モノスタス) 他

二期会合唱団(合唱) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

全席指定 S 10000円(Sペア19000円) A 8000円 B 5000円

C 3000円 学生(24歳以下・枚数限定)2000円

1時間で楽しめる「魔笛」ハイライト

2018年2月1日(木) 14:00 南足柄市文化会館(小ホール)

2月2日(金) 14:00 秦野市文化会館(小ホール)

演出:太田麻衣子

出演:高崎翔平(ザラストロ) 斉藤園子(夜の女王)

澤原行正(タミーノ) 横森由衣(パミーナ)

堤 智洋(パペーゲン) 本田ゆりこ(パペーナ)

平塚洋子(2/1 ピアノ) 矢崎貴子(2/2 ピアノ)

全席指定 1000円

青島広志のたのしい名作オペラ講座

オペラ「魔笛」の魅力

2018年2月11日(日) 14:00 社のホールはしもと(ホール)

2月18日(日) 14:00 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

出演:青島広志(お話・ピアノ)

横山美奈(ソプラノ) 小野 勉(テノール) 福山 出(バリトン)

全席指定 2000円 学生(24歳以下・枚数限定)1500円

未来に羽ばたくオペラ歌手たちによる「魔笛」コンサート

2018年3月14日(水) 14:00

相模女子大学グリーンホール(多目的ホール)

全席自由 500円 1/20(土)一般発売

魔笛特設Webサイト www.kanagawa-kenminhall.com/mateki2018/

オペラ鑑賞の前に聴きどころ、見どころを知っておきたい……という方には、テレビやコンサートでお馴染みの作曲家・青島広志が、演奏を交えながら楽しく解説するオペラ講座「オペラ『魔笛』の魅力」がおススメです。さらにオペラ公演のアンダースタディ*による「魔笛」コンサートや公開リハーサルの開催など、多彩な関連企画を用意しています。この機会に、ぜひ県内各地の劇場で「魔笛」をお楽しみください。

*稽古やリハーサルに参加し、練習代役として控えながら勉強するキャスト



左右とも
2015年7月公演より
写真提供:東京二期会(©三枝近志)

神奈川県民ホール

●フンバーディング作曲

オペラ「ヘンゼルとグレーテル」日本語新制作版

2018年6月3日(日)〈大ホール〉

演出:田尾下哲 日本語訳詞台本:宮本益光

指揮:現田茂夫

管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

出演:青木エマ(ヘンゼル) 鶴木絵里(グレーテル)

岡本知高(お母さん&お菓子の魔女)

宮本益光(お父さん) 他

●関連企画

ワークショップや、オーケストラピット見学も開催予定。

[オルガン・コンサート]

2018年6月3日(日)〈小ホール〉 詳細はHPにて公開予定

[ワークショップ:203gowさんとあみたまおかしをつくらう!]

2018年6月3日(日)〈大会議室〉

[展覧会:203gow展 へんなあみもの「おかしなおかしの家」]

2018年5月30日(水)~6月3日(日)〈ギャラリー第1展示室〉

●音楽堂企画

[ワークショップ:「みんなで創る、空想の音楽堂」(仮称)]

2018年6月3日(日)〈ギャラリー第2~第5展示室〉

KAAT神奈川芸術劇場

2018年6月2日(土)~3日(日)

バックステージツアーやアトリウムを使ったパフォーマンスなどを予定



昨年のオープンシアターの様子

©Eri Iwata

オープンシアター 2018

KAAT神奈川芸術劇場

神奈川県民ホール



ホールや芸術をもっと身近に!と神奈川県民ホール、KAAT神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂の3館がお届けする「オープンシアター」。今年も楽しさ満載で開催します。県民ホール大ホールではオリジナル日本語台本によるオペラ「ヘンゼルとグレーテル」を上演。また、関連企画も各所で展開します。小ホールでは人気のオルガンコンサート。またロビーやギャラリーでは、編み物作家203gowのワークショップ&展覧会。KAAT大スタジオでもバックステージツアーやワークショップを予定。4月から改修に伴い休館する音楽堂も飛び入り参加し、県民ホール内でミニ・コンサート等を計画中国! どうぞお気軽にお越しください!



劇団四季 ミュージカル「ノートルダムの鐘」

KAAT神奈川芸術劇場

「宿命」を描く大人のための演劇作品
世界の光と闇の中で、人は明日を祈り、生きる。

劇団四季では、昨春に人気を呼んだ「オペラ座の怪人」に続いて、今春は世界的文豪ヴィクトル・ユゴーの小説「ノートルダム・ド・パリ」をもとにしたミュージカル「ノートルダムの鐘」を4月8日(日)より上演します。

15世紀末のパリ。幼くしてノートルダム大聖堂の大助祭フロローにひきとられ、その容貌から大聖堂に閉じ込められた心優しい青年カジモド。祭りの日、自由を愛し、決して偏見を持たないジプシーの踊り子エスメラルダに出会い、恋をする。一方、美しいエスメラルダに邪悪な欲望を抱いたフロローは大聖堂警備隊長フィーバスにジプシーの排除を命じるが、フィーバスもまたエスメラルダに心奪われていく。

「ノートルダム・ド・パリ」は1831年に発表され、人生と社会を見つめ、人間が背負わなくてはならなかった宿命を生々しくも詩情に富んだ筆致で描いた小説として高い評価を受けました。そして1923年ロン・チェイニー主演の無声映画を皮切りに、バレエや舞台、そして1996年に公開されたデイズニー長編アニメーションと、多くのクリエイターたちの創造力を刺激してきました。

そのデイズニーの長編アニメーション映



劇団四季 ミュージカル「ノートルダムの鐘」

2018年4月8日(日)～8月28日(火) KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉

原作:ヴィクトル・ユゴー 作曲:アラン・メンケン 作詞:スティーヴン・シュワルツ

脚本:ピーター・バーネル 演出:スコット・シュワルツ 日本語台本・訳詞:高橋知加江

出演:劇団四季

全席指定 S 11880円 A・サイドA 8640円 B・サイドB 6480円 C・サイドC・サイドイス付立見 3240円

劇団四季予約センター 0120-489444 (10:00~18:00)

◎詳細はHPをご覧ください。www.kaat.jp/d/notredame



左右ともに photo:上原タカシ ©Disney

画ではアラン・メンケンが作曲、スティーヴン・シュワルツが作詞を担当しています。メンケンは、長きにわたり舞台音楽とディズニー映画(「リトル・マーメイド」「美女と野獣」「アラジン」「塔の上のラプンツェル」など)を手がけ、アカデミー賞8回をはじめ、グラミー賞やトニー賞など多くの受賞歴を誇る巨匠。一方シュワルツも、「ゴッドスペル」「ピピン」「ウィキッド」などのヒットミュージカルを世に送り出すなど、舞台はもちろんテレビ・映画など多彩な活動を展開しています。彼らに課せられたのは、世界的文豪によるロマン主義文学を、いかにしてアニメーションにするかというテーマでした。二人を含む製作チームは、物語で描かれている中世パリの時代の雰

囲気を尊重し、また物語の基本的な価値観とも言える「宿命感／人間愛／外見ではなく本質を見つめることの真実性」を創作の中心に置きました。その結果、オラトリオ聖譚曲のように美しく荘厳で、抒情的な楽曲の数々が生み出されたのです。これらの楽曲はヨーロッパを中心に絶賛され、1999年にドイツ・ベルリンで最初の舞台版が上演された際には、メンケンとシュワルツともに関わっています。

ディズニー・シアトリカル・プロダクションズによるミュージカル「ノートルダムの鐘」は、2014年に米国カリフォルニア州サンディエゴのラ・ホイヤ劇場で初演。「物語に新たな深みを与えた」と高い評価を得たこのシュワルツ演出版では、

コメディの要素を極力排し、小説の時代設定に基いて、中世ヨーロッパの時代に実在した演劇的技法を用いています。さらに音楽を「作品の柱」の一つとして舞台上に聖歌隊を据え、キャストと聖歌隊全員で物語を進めていくことで、まるで礼拝に訪れた会衆により語られた受難劇を連想させます。こうしたシンプルながらも正統的な表現形式が、作品のシアトリカルでシンボリックな世界観を支え、楽曲そのものが作品のメッセージの直接的な伝達手段であることを明確にしています。

これにより「心に強く訴え、熱烈に感情を揺さぶる。素晴らしいパフォーマンスに促され、観客は喝采する」(バラエティ誌)、「強力な魅力的。愛と報復の物語に新鮮な深みを得る。圧倒的な喜び」(サンディエゴ・ユニオン・トリビューン)など、高評価を得ています。そして、日本では2016年12月東京で初演されました。「ノートルダムの鐘」劇団四季版の日本語台本と訳詞を手がけるのは、2015年に日本初演されたディズニーミュージカル「アラジン」も担当し、話題を呼んだ高橋知加江です。2作連続で劇団四季の新作にかかわることになりました。

ディズニーミュージカル「美女と野獣」から20年を超えるディズニーと劇団四季のパートナーシップ。その第6弾「ノートルダムの鐘」。従来のディズニーミュージカルを象徴する言葉を「アンタジック」「幸福感とするならば、ノートルダムの鐘」におけるそれは「ドラマティック」「シリアス性」。人生の悲哀、儂さや脆さなど、登場人物たちが背負わなくてはならなかった宿命を描き、その先にある一縷の希望を見つめることで、嘘偽りのない立体的な人間ドラマを成立させた大人のミュージカルです。ぜひともこの機会にご覧ください。

文:今井浩一

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2018 (TPAM in Yokohama 2018)

2018年2月10日(土)～18日(日)

[KAAT神奈川芸術劇場での主なプログラム]

- 2月11日(日)～18日(日)〈中スタジオ〉
ホー・ツーニエン「一頭あるいは数頭の虎」[シンガポール]
ライトニングスタディーズ:
圧迫・抗争・汚染翻訳センター(CTCCCS)「パサ・パサ」[ケソン]
- 2月12日(月・祝)・13日(火)〈ホール〉
梅田哲也「インターンシップ」[大阪]
- 2月12日(月・祝)・13日(火)〈大スタジオ〉
チョイ・カファイ
「存在の耐えられない暗黒(ワーク・イン・プログレス)」
[シンガポール/ベルリン]
- 2月16日(金)・17日(土)〈大スタジオ、Bayani's Kitchen〉
ジェシカ・ザフラ+ラヤ・マーティン
「1565年から幸福を輸出し続けて:世界征服プロジェクト」
[マニラ]
- 2月17日(土)・18日(日)〈大スタジオ〉
サイレン・チョン・ウニョン
「変則のファンタジー_日本版」[ソウル]

[その他の会場でのプログラム]

情報は随時更新中。詳細はP13および公式HPをご覧ください。

※チケット料金、お取り扱い先は公演ごとに異なります。

詳細は公式HPまで。

国際舞台芸術ミーティング in 横浜事務局 03-5724-4660

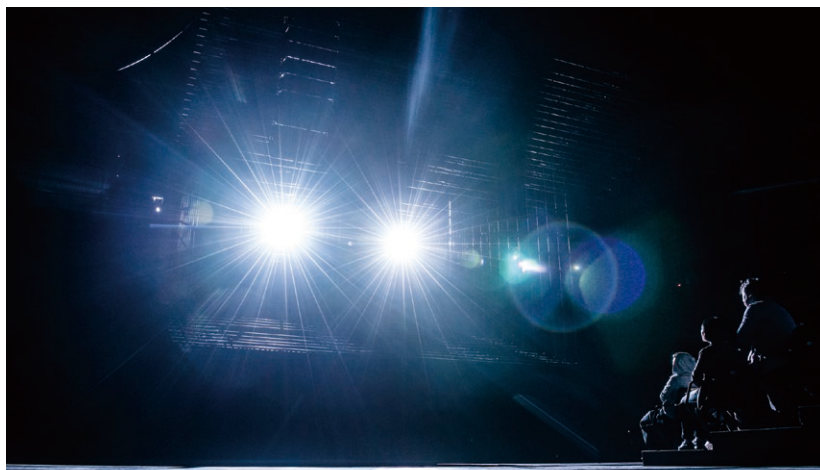
www.tpam.or.jp/2018/



「一頭あるいは数頭の虎」One or Several Tigers (2017) by Ho Tzu Nyen, courtesy of the artist

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2018 (TPAM in Yokohama 2018)

KAAT神奈川芸術劇場



「インターンシップ」

©Rody Shimazaki

TPAM(ティーパム)は、アジアと世界の舞台芸術の最新動向を伝える(公演プログラム)、国内外の重要なフェスティバル・劇場・芸術文化団体などに従事する舞台芸術関係者が集まる(交流プログラム)、日本の新人アーティストにとって観客開拓・海外公演のチャンスとなる(公募プログラム)から成る、世界有数・国内唯一の国際的舞

一の国際的舞

近年はアジア・フォーカスを強化し、アジアとの国際共同製作にも参画。前回(2017年2月)は41の国と地域から423名、日本から529名の舞台芸術のプロフェッショナルが参加しました。その一人ひとりが数百、数千、数万の未来の観客につながっています。また、ほとんどのプログラムは一般のお客様もリーズナブルな入場料で鑑賞・参加可能です。

メイン会場となるKAAT神奈川芸術劇場では、音楽、舞台芸術、美術の現場で活動する梅田哲也と会場の特性を知り尽くしたスタッフが協働し、劇場の機構を「演奏/上演」するコンサート/パフォーマンス、「インターンシップ」の上演や、映画作家・美術家であるホー・ツーニエンが手がける「一頭あるいは数頭の虎」の上演と圧迫・抗争・汚染翻訳センター(CTCCCS)による展示に加え、CTCCCS代表レナン・ラルー・アンとツーニエン両者による連続トークを会場内で開催。

その他、朝鮮戦争直後に韓国で大流行し、その後衰退した、女性による大衆演劇「ヨソン・ゲック(女性国劇)」の最後の世代の男性役俳優によるパフォーマンス「変則のファンタジー_日本版」等を上演します。



公演より

Photo: Nguyen The Duong

2018年2月23日(金)~2月25日(日)〈ホール〉

出演:Lune Production

全席指定 S 4500円 A 3500円 U24(24歳以下)2250円

高校生以下1000円 シルバー(65歳以上)4000円



KAAT×マグル・フェスティバル実行委員会

Lune Production 「A O SHOW」

KAAT 神奈川芸術劇場

世界的に人気を博するベトナムのヌーボー・シルク「Lune Production」が、神奈川県が提唱するマグル・フェスティバルの一環で初来日を果たします。シルク・ドウ・ソレイユでも演出を手がけたトゥアン・レー監督はじめメンバー全員がベトナム人。今回上演する「A O SHOW (アー・オー・ショー)」の「A O」はベトナム語の「Lang と Pho (村と町)」の発音からきています。ベトナム南部の農村と都市の「日々の暮らし」を、竹や籐などのベトナムの日用品を使って、伝統楽器の生演奏を交えて表現。視覚に訴える演出、素晴らしい振付、力強いアクロバットによる情緒的かつコミカルな舞台空間をご体験ください。



木ノ下歌舞伎「勸進帳」2016年京都公演 提供:KYOTO EXPERIMENT事務局 撮影:井上嘉和



木ノ下歌舞伎「勸進帳」

KAAT 神奈川芸術劇場

古典の現代化を掲げ、歴史的な文脈を踏まえつつも現代における歌舞伎演目上演の可能性を模索する木ノ下歌舞伎。主宰の木ノ下裕一がさまざまな視点から演目を深く読み解き、指針を示しながらさまざまな演出家とコラボした作品で高い注目を集めています。山伏に変装して関所を通過しようとする義経一行と、義経たちが変装しているという情報を得て怪しい一行を通さない富樫左衛門の攻防を描く歌舞伎十八番「勸進帳」。2010年にKUNIO・杉原邦生の演出で初演し、2016年に再創作しています。今回が関東初上演。客席が対面する細長いアクティングエリアを設け、国境、現在と過去、主と従、観客と舞台など、現代社会を取り巻くあらゆる「境界線」が交錯する、多層的なドラマが繰り広げられます。

2018年3月1日(木)~3月4日(日)〈大スタジオ〉

監修・補綴:木ノ下裕一

演出・美術:杉原邦生[KUNIO]

音楽:Taichi Master

出演:リー 5世 坂口涼太郎 高山のえみ

岡野康弘 亀島一徳 重岡 漢 大柿友哉

全席自由 一般3500円 シルバー(65歳以上)3000円

U24(24歳以下)1750円 高校生以下1000円

上段左より:
串田和美 藤木 孝 大森博史下段左より:
千葉雅子 横田栄司 西尾友樹

まつもと市民芸術館プロデュース

「白い病気」

KAAT 神奈川芸術劇場

俳優・演出家の串田和美が芸術監督を務める長野県・まつもと市民芸術館が、チエコスロバキアを代表する作家カレル・チャペック(1890~1938年)の「白い病気」を引っさげてやってきます。チャペックは新聞記者でありながら、SF小説、童話、旅行記など文学のあらゆるジャンルに名作を残しています。戯曲「RUR」では「ロボット」という言葉を生み出しました。「白い病気」は迫り来るナチの弾圧の中、1939年に初演されました。初期は身体に白い点ができるだけですが、その後急速に身体は悪臭を放って崩壊し、死に至る謎の病気。その治療薬を発見した軍事国家の町医者は、新薬と引き換えに独裁者にある要求をする……。作曲家・ピアノリストの寺嶋隆也を迎え、串田が長編合唱曲を入れて大胆に潤色します。

2018年3月7日(水)~11日(日)〈中スタジオ〉

原作:カレル・チャペック 翻訳:小宮山智津子

潤色・演出・美術:串田和美 音楽:寺嶋隆也

出演:串田和美 藤木 孝 大森博史 横田栄司 西尾友樹

千葉雅子 大鶴美仁音 飯塚 直 他

全席指定 一般6500円 U18(18歳以下)3500円

※当日各500円増



知れば、
知るほど、
好きになる

演劇の小箱

ろっぽう

六方

年明けは一年のうちで邦楽・伝統芸能に接する機会の多い時期です。そこで、今回は歌舞伎についてお話します。

歌舞伎には他の演劇にはない独特の演技があります。中でも特徴的な、これぞ歌舞伎！というものが「六方」です。あらこと はなみち荒事*の役が花道で引き込



『勘進帳』の弁慶(二代目市川猿之助)

む時に演じられ、歌舞伎十八番の一つ『勘進帳』のフィナーレで、弁慶が喜び勇んで主人である義経を追いかける「飛び六方」が有名です。

六方とは、歩き方を力強く荒々しく様式化したもので、手を上下左右前後に大きく振りながら、足を強く踏み鳴らす演技です。右手と右足、左手と左足というように、同じ側の手足を同時に出して歩きます。飛ぶように進む「飛び六方」、手を軽く握って狐のような身振りをする「狐六方」(『義経千本桜』)、上半身は両手を大きく振り勇ましい大盗賊を表現し、下半身は遊女の色気あふれる足取りで歩くという何とも奇妙な

「傾城六方」(『宮島のだんまり』)、平泳ぎのような手の動きで舞台から退く「泳ぎ六方」(『天竺徳兵衛韓嘶』)などさまざまな六方があります。

六方の元は、江戸初期の派手な衣装で徒党を組み往来を闊歩した旗本奴*の傾奇者*たちの6つの組織・六方組(鉄砲組、箆簾組、鶴鴒組、吉屋組、大小神祇組、唐犬組)とするものと、天地東西南北を鎮める宗教技法・六方の儀からきたとの説があります。

*荒事:荒々しく豪快な演技、演目のこと。

*旗本奴:旗本の青年武士やその奉公人を中心とした侠客。町人出身の傾奇者・侠客を町奴と言う。

*傾奇者:華美で異様な風体・言動をする者。

楽器ミュージアム

チェレスタと鍵盤付きグロッケンシュピール

映画「ハリー・ポッターと賢者の石」の冒頭に流れるテーマ音楽を覚えていますか？あのミステリアスで繊細なメロディを、鈴のような響きで奏でているのが「チェレスタ」です。

チェレスタは1886年にオギュスト・ミュステルが考案した楽器。チャイコフスキーはその響きに魅了され、1892年に初演されたバレエ「くるみ割り人形」の「金平糖の精の踊り」にチェレスタを用いて、この楽器を広く世に知らしめました。

外見はアップライトピアノのようなチェレスタですが、その仕組みは異なります。鍵盤を押すとハンマーがピアノのような「弦」ではなく金属の「板」を打ちます。各板には木製の共鳴器が

付いていてピアノより音が長く伸びます。グランドピアノのハンマーは弦を下から打つのに対して、チェレスタでは上から打ちます。チェレスタは金属の板をばちで打つグロッケンシュピール(鉄琴)に近い構造の楽器なのです。

チェレスタは、モーツァルトのオペラ「魔笛」でもパパゲーノが鳴らす「銀の鈴」の音として使われてきました。もちろんモーツァルト(1756~91)の時代にチェレスタはなく、楽譜には「グロッケンシュピール」と指定されています。当時のグロッケンシュピールは、「ばち」ではなく「鍵盤」を音板に付けて両手で弾く楽器でした。この「鍵盤付きグロッケンシュピール」はその後すたれてしまい、長年チェレスタが

その代役を任されていた。近年は、チェレスタを製造する楽器メーカー(独・シードマイヤーと日・ヤマハ)が鍵盤付きグロッケンシュピールも手がけるようになり、こちらを使用する機会も増えています。

3月の県民ホール出張公演「魔笛」ではどちらの音色が聴けるか、お楽しみに。



チェレスタ
音域は4オクターヴから最大5オクターヴ半まで。1990年代初めにヤマハがグランドピアノのアクションを取り入れて、自由に強弱を変化でき、音域も広げるなどの改良を施しました



イラスト：遠藤裕喜奈

ヴィクトル・ユゴー 「ノートルダム・ド・パリ」

ロマン主義文学を代表する小説「ノートルダム・ド・パリ」には、さまざまな愛のカタチが描かれています。

美しいジプシーの娘エスメラルダは、ハンサムな軍人フェビュスに命がけの愛を捧げます。婚約者もいるフェビュスにとって、エスメラルダとの愛はかりそめのものでした。ノートルダム大聖堂の助祭長フロロは神への誓いを破り、エスメラルダに恋し、嫉妬と欲情に狂い、殺人まで犯してしまいます。フロロによって育てられた捨て子の鐘つき男カジモドは、その醜い肉体にエスメラルダへの美しくも清らかな愛を宿すのです。

そんな物語に描かれたさまざまな愛のカタチを一身に背負った女性がいます。名前はアデール・ユゴー。作者ヴィクトル・ユゴーの次女です。彼女が生まれたのは1830年7月28日。ユゴーがちょうど「ノートルダム・ド・パリ」を執筆中の時でした。

1851年、ルイ＝ナポレオンがクーデターを起こすと反対派のユゴーは亡命し、1852年に英国ガーンジー島に居を構えます。当時ユゴー家に入出入りしていた若き英国士官ア

ルバート・ピンソンにアデールは恋します。彼女は次々と持ち込まれる縁談を断り、ピンソンとの結婚を一途に夢見ます。しかし、彼に結婚の意志はなく、カナダに転属。すると1863年、アデールは彼を追って一人カナダへと海を渡るのです。その後、カナダからピンソンと結婚したというアデールの手紙がユゴーに届きます。しかし、それは叶わぬ愛による狂気が、彼女に書かせた全くの妄想でした。その時すでに彼は別の女性と結婚し、子供までいたのです。

小説「ノートルダム・ド・パリ」ではエスメラルダの処刑から2年後に墓を掘り返すと、女の骸骨を抱きしめる背骨が曲がった男の骸骨が見つかり物語が終わります。

1872年、フランスに戻されたアデールはそのまま精神病院に入れられ、1915年84歳で孤独の内に亡くなりました。

ヴィクトル・ユゴー Victor Hugo (1802-85)

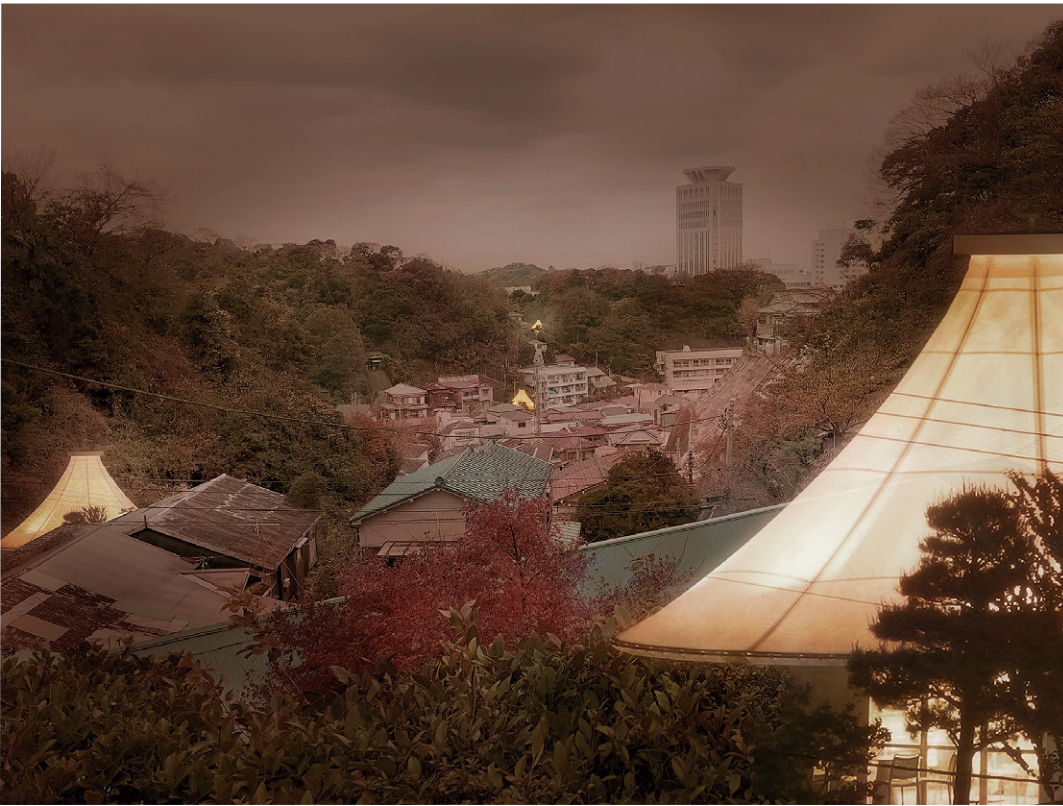
ロマン主義の詩人、小説家。政治家。23歳でレジオン・ドヌール勲章を授与される。葬儀は国葬とされ、棺は一晚凱旋門に安置後、パンテオンに埋葬された。代表作は「エルナニ」、「ノートルダム・ド・パリ」、「レ・ミゼラブル」など。

山本理顕の 街は 舞台だ

第11回

魅力的な住宅地、
新たな観光地にしよう
谷戸^{*}地域
(横須賀市)

WEB
+α!



行燈のようなカフェハウスがあちこちに点在している谷戸の景色
(実際の谷戸の写真に、山本理顕が東日本大震災の被災者のために設計した「みんなの家：岩手県釜石市平田」を合成)

企画・監修：山本理顕（建築家）



©Jake Waltersm

1945年生まれ。71年、東京
藝術大学大学院美術研究科
建築専攻修了。東京大学生産
技術研究所原研室生。73年、
株式会社山本理顕設計工場を
設立。2007年、横浜国立大
学大学院教授に就任（11年、
17年、現在、横浜国立大学大
学院客員教授。

横須賀は明治初期から軍港として栄えた街だ。市内には平坦地が少ない。そこで谷戸地域が住宅地として選ばれ、発展につれ傾斜地へと広がっていった。

近年、谷戸地域で深刻な空き家問題と高齢化が進んでいる。2011年の報告書によると市全域の空き家率（戸建住宅）は7.5%、谷戸地域は7.9%とさほど差はないが、車で家に横付けできない建物の空き家率は12.3%、中でも階段のあるエリアは14%と非常に高い比率となっている⁽¹⁾。階段状道路は台車やキャリーバッグが使えず、日常の配達・買い物もままならない。また、少子高齢化の指標である老年化指数^{*}も1983年は53.49だったが、2010年は261.06と約5倍となっている⁽²⁾。

^{*}谷戸：丘陵地が浸蝕された谷状の地形。

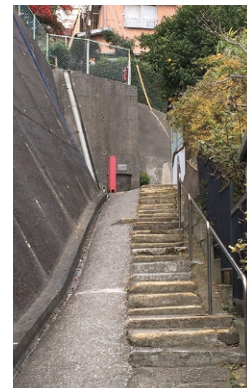
^{*}老年化指数：老年人口（65歳以上）÷年少人口（0～14歳）×100で算出する。

(1)、(2)：平成23年谷戸地域空き家等実態調査報告書（横須賀市）より

斜面地というのは実は大きな観光資源なのである。イタリアのアッシジやペルーのジャヤサン・ジミナーノのような中世都市、エーゲ海の島々の町、みんな斜面地の街である。いずれも世界有数の観光地だ。

その斜面の街の高低差を解消させる巧妙な技もある。例えば、ポルトガルのリスボン。上と下の街を結ぶ高低差45メートルのエレベーターは1902年完成の24人乗り。その美しい立ち姿は市民の足であり、今でも街の観光資源だ。ブラジル・リオのファベラでは、ロープウェイが日常の交通手段だ。

この横須賀の谷戸も、ちょっとした工夫で楽しくなる。住み易くなる。例えば、高低差5～10mごとに小さなカフェハウスをつくる。休憩所であり、住民が世間話をする場所である。こうしたカフェハウスが斜面に点在していれば休みながら登れる。景色が良ければ観光客も来る。大きな行灯^{あんどん}みたいなカフェハウスが斜面のあちこちに点在していればそれだけで楽しい。(談)



階段が続く斜面地

監修…神奈川県民俗芸能保存協会会長 石井一躬
協力…箱根町生涯学習課
写真提供…箱根町生涯学習課



湯釜をふって湯をふりかけて悪疫を払う

住所：神奈川県箱根町仙石原88（諏訪神社）
交通：箱根登山鉄道「箱根湯本駅」から「桃源台行」の箱根登山バス
「仙石」下車 徒歩5分
日時：2018年3月27日
お問合せ：箱根町生涯学習課 0460-85-7601

WEB
+a!

かながわ
芸能
歳時記

第11回

煮えたぎった湯釜の湯を獅子が撒く 仙石原の湯立獅子舞

（箱根町仙石原／諏訪神社／3月）

仙石原の湯立獅子舞は、毎年3月27日の諏訪神社の祭礼に奉納されます。湯立を用いた神事は全国的に広く行われていますが、獅子が湯立を行うのは全国的にも非常に珍しいものです。国選択無形民俗文化財および神奈川県指定無形民俗文化財に指定されています。

悪霊退散・無病息災・家内安全等を祈念して獅子舞が奉納され、まだ雪の残る境内の神池で男たちの水行が行われた後、湯立の行が斎行されます。

獅子は煮えたぎる湯釜の前に立ち、東西南北の四方湯釜の火湯釜を祓います。祭壇の青竹幣を湯の中に入れてかき回し、さらに湯釜をとって両手で熱湯をかき回し、湯釜を引き上げて神に献じ、その後、に参集の氏子たちの頭上にも振りかけます。その湯湯花を浴びると一年間の無病息災がもたらされるとされ、降り注ぐ湯花を浴びようと多くの人がつかめかけます。

●同時期（2月）開催のその他の祭り

いなり（三浦市三崎・海南神社）2月11日

世附の百万遍念仏足柄上郡山北町・能安寺 2月17・18日

more! カナガワ

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会みなとみらいシリーズ第337回

2018年2月17日（土）14:00 横浜みなとみらいホール
指揮：小泉和裕 ピアノ：小山実稚恵
ウェーバー／歌劇「オベロン」序曲
グリーグ／ピアノ協奏曲 ブ람ス／交響曲第1番
全席指定 S 6000円 A 4500円 B 3000円
ユース（25歳以下）当日のみ 1000円
神奈川フィル・チケットサービス www.kanaphil.or.jp/
045-226-5107（平日10:00-18:00）

神奈川近代文学館

企画展「山川方夫と『三田文学』展」

2018年1月27日（土）～3月11日（日）月曜休館（2月12日は開館）
常設展「文学の森へ 第1部」と同時開催 観覧料：一般400円
3月4日（日）14:00～ 記念講演会「山川方夫一人と文学の魅力」
講師：坂上弘（作家・本展編集協力）
料金：1000円 ＊講演会参加者は当日に限り展示観覧料が無料になります。
TEL.045-622-6666 www.kanabun.or.jp

神奈川県文化課

能楽ワークショップ〔東京2020公認プログラム〕

①小田原会場 小田原市民会館小ホール/2018年2月17日（土）14:00～16:00
②横浜会場 神奈川県立青少年センター多目的プラザ/2018年3月3日（土）10:30～12:30
日本の伝統芸能「能楽」に親しむワークショップを開催します。親子で楽しく「能楽」の面白さ、奥深さを学びましょう。対象：県内の小・中学生とその保護者（小・中学生のみの参加も可）講師：中森貴太（観世流シテ方）
料金：1人1000円 申込み方法：往復はがきまたはインターネット
県文化課「能楽ワークショップ」係 応募締切：2018年2月1日（木）（必着）
www.pref.kanagawa.jp/cnt/p883752.html TEL.045-210-3808

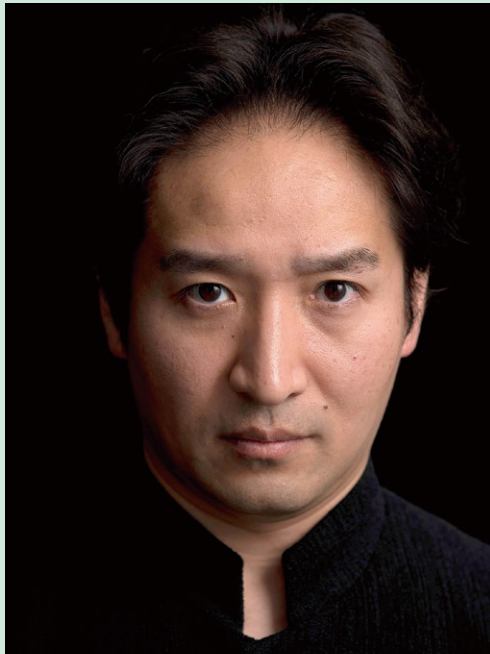
神奈川県立近代美術館 葉山

「白寿記念 堀文子展」

展覧会期：開催中～2018年3月25日（日）まで ※会期中展示替えあり
企画展関連イベント
「堀文子展」担当学芸員によるギャラリー・トーク
2018年2月17日（土）・3月18日（日）14:00-14:30 会場：当館展示室
申込不要、無料（参加には「堀文子展」当日観覧券が必要）
TEL.046-875-2800 www.moma.pref.kanagawa.jp

My Roots My Favorites

田尾下哲
(演出家)



©福里幸夫

出演者一人ひとりを大切にしたい、
それぞれの人間関係、人生を描く演出術に
感銘を受けました。

1999年、神奈川県民ホールで行われた首都オペラ「ラ・ボエーム」公演にパルピニョール役で参加しました。演出家のパウエルンファイントさんが2幕の稽古をした時の事です。出演者は60人ほどいたと思うのですが、舞台美術もまだない空間に、一人ひとりに役割を与え、人間関係を伝えて最初の10分ほどの場面を3時間かけてつけた時には、まるで魔法のように！その場面に活き活きとした空気が流れ始めたのです。それまでは何人かをグループにして、重ならないように立つ場所を決めて、背景として合唱を描くような演出にしか会ってこなかったのですが、舞台上のすべての人にそこにいる意味を持たせ、人間関係を描いていく、それがドイツの演出家の手法なのだ……とショックを受けました。

その1年ちょっと後には、ドイツ人演出家のミヒャエル・ハンペ先生と出会うことになるのですが、パウエルンファイントさんに出会っていなければ、ハンペ先生の助手を志願することはありませんでした。それから16年後の2015年、私は神奈川県民ホールで「金閣

寺」を演出させていただきましたが、この演目、1991年の日本初演が、世界初演を行ったベルリンドイツオペラの演出部長であったパウエルンファイントさんの演出でした。何か運命的なものを感じます。

出演者一人ひとりを大切に演出するという考え方は、パウエルンファイントさんの演出から学んだものです。私は、稽古が始まる前には合唱団員の名前を写真で覚えて稽古に臨み、全員の役割や動きを事前にプランしておくようにしています。もちろん、実際に稽古をして変わっていくことは少なくありませんが、人数と特徴から、その空間に存在する人たちの意味を吟味しておくのです。舞台は映像と違って観客が見る場所を選べます。だからこそ、舞台上どこもが生きており、合唱団を含め一人ひとりがいる意味を演出できる演出家でありたい、と思います。

田尾下哲 Tetsu Taoshita

1972年兵庫生まれ、横浜育ち。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。西洋演劇、演出をミヒャエル・ハンペに学び、2000年から演出家として活動。近年の主な演出にオペラ「後宮からの逃走」、「金閣寺」、「蝶々夫人」、「カヴァレリア・ルスティカーナ／道化師」など。

REVIEW

モンテヴェルディ生誕450年記念特別公演 歌劇「ポッペアの戴冠」(演奏会形式)

2017年11月25日(土) 神奈川県立音楽堂

指揮:鈴木優人 演奏:バッハ・コレギウム・ジャパン

出演:森 麻季(ポッペア) レイチェル・ニコルズ(ネローネ) クリント・ファン・デア・リンデ(オットーネ) 波多野睦美(オッターヴィア)
森谷真理(フォルトゥナ/ドウルジッラ) 澤江衣里(ヴィルトゥ) 小林沙羅(アモーレ) 藤木大地(アルナルタ/乳母) 櫻田 亮(ルカーノ)
ディンクル・ヤンデル(セネカ) 加来 徹(メルクーリオ) 松井亜希(ダミジェッラ) 清水 梢(パッラーデ) 谷口洋介(兵士II)
舞台構成:田尾下 哲



©青柳 聡

2017年は、イタリアの大作作曲家モンテヴェルディの生誕450年を記念して、各地で記念演奏会が行なわれていますが、音楽堂でも6月の「聖母マリアの夕べの祈り」*に続き「ポッペアの戴冠」を上演しました。当初は、シンプルな演奏会形式としての開催を予定していましたが、舞台構成に田尾下哲を迎え、最終的にはドラマを活かした華やかな舞台となりました。演奏は、鈴木優人の熱い想いからポッペア役の森麻季、ネローネ役のレイチェル・ニコルズをはじめとする豪華歌手陣が国内外から集結しました。演技もさることながら素晴らしい歌声が音楽堂内に満ち溢れました。

*6月3日(土) 演奏:リナルド・アレッシンドリーニ指揮 コンチェルト・イタリアーノ

お客様の声

古楽器の演奏がとても良かった。歌手の皆さまの「歌声」、「演技」がすばらしかった。そして何よりも、まとめあげた指揮者、演出家が素晴らしい。感動しました！(50代女性)

バッハ・コレギウム・ジャパンの演奏、独奏者の皆さんが素晴らしい。大感激です。大曲なのに長さを感じませんでした。(60代男性)

大きなホールだと遠くで小さくしか見えなかったけど、今日は数メートルで見られて親近感があった。演奏も素晴らしい。会場に味わいがあったとても良かった。(50代男性)

公益財団法人神奈川芸術文化財団をご支援いただいている方々

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を始めとしたさまざまなご支援の仕組みを通じて、広く皆さまからご寄附・お力添えをいただいております。

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング/株式会社浅岡装飾/アサヒビール株式会社/アズビル株式会社/学校法人岩崎学園/株式会社ヴォートル/株式会社エス・シー・アライアンス/株式会社NHKアート/株式会社勝利庵/一般財団法人神奈川県教育福祉振興会/公益財団法人神奈川県結核予防会/神奈川県信用保証協会/株式会社神奈川弘文社/株式会社神奈川保健事業社/神谷コーポレーション株式会社/カヤバシステムマシナリー株式会社/川崎北ロータリークラブ/川本工業株式会社/かをり商事株式会社/株式会社共栄社/株式会社ケイエスピー/株式会社KSP/株式会社合同通信/コトブキシーティング株式会社/株式会社サンナイオートメーション/株式会社シグマコミュニケーションズ/株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局/株式会社清光社/月島機械株式会社/株式会社テレビ神奈川/東工株式会社/ナイス株式会社/株式会社日建設計/日産自動車株式会社/日生商工株式会社/日総ブレイン株式会社/株式会社野毛印刷社/バナソニックESエンジニアリング株式会社/平安堂薬局/株式会社ホテル、ニューグランド/一般社団法人本牧間連産業振興協会/丸茂電機株式会社/三沢電機株式会社/森平舞台機構株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社/株式会社有隣堂/株式会社豊商會/株式会社ユニコーン/株式会社横浜アーチスト/横浜新都市センター株式会社/横浜信用金庫/弁護士法人横浜パートナー法律事務所/横浜ビルシステム株式会社/株式会社ワイイーシーソリューションズ(匿名:3社)

永年個人賛助会員 川村恒明 **個人賛助会員** 味田健一/岩間良孝/岡田博子/黒瀬博晴/小山明枝/嶋田昌子/高岡俊之/橋本尚子/藤原靖也/三宅浩二(匿名:4名)

協賛・協力

能舞台協賛 ナイス株式会社

協力 神奈川総合設備株式会社/神奈川ヨト自動車株式会社/崎陽軒/株式会社東芝/株式会社野毛印刷社/株式会社富士住建/三菱地所株式会社

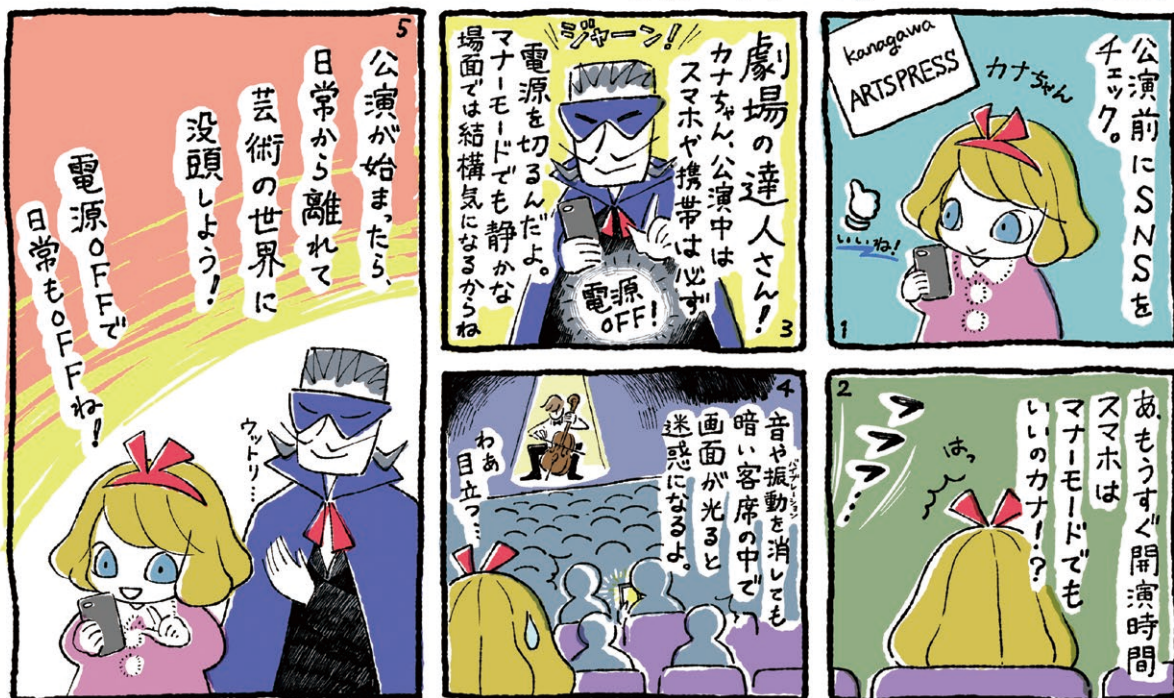
(敬称略 2017年12月11日現在)

ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ: 本部経営企画課 045-633-3760 www.kanagawa-arts.or.jp/support/

劇場の達人

「スマホは必ず電源OFFで!」

え・ユキナ



Kame かながわメンバーズ 登録無料!
KANAGAWA members メルマガ無料配信
チケットの先行予約が可能
登録は WEBで! www.kanagawa-arts.or.jp/kame

神奈川芸術プレスはここにあります。
神奈川県内の主な公共施設の情報コーナー、首都圏の公共
ホール・公立図書館・博物館・書店・銀行等に配架しております。
WEBでも読めます! www.artspress.jp

MAGCUL 神奈川県発、文化発信ポータルサイト
MAGCUL マグカル ドット ネット
MAGCUL.NET

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

人につくす、
社会につくす技術。

ビル・施設 発電 電力流通 公共インフラ 鉄道・産業システム リテール & プリンティング

人の、社会の、世の中の、さまざまな課題に向き合うこと。私たちの技術の一步は、そこからはじまります。
「社会インフラ」「エネルギー」「電子デバイス」そして、それらを支える「ICTソリューション」。
これから東芝は、確かな技術で豊かな暮らしに貢献していきます。

社会インフラ ICTソリューション エネルギー 電子デバイス

編集後記

あけましておめでとうございます。2018年も魅力的な公演が目白押し! 皆さまに足を運んでいただくための情報を沢山掲載しますので、今年もどうぞ宜しくお願い致します。(亀子) 本年が皆さまにとって感動と芸術にあふれるより良い年でありますように、編集部一同気持ちも新たに燃えています。(倉)